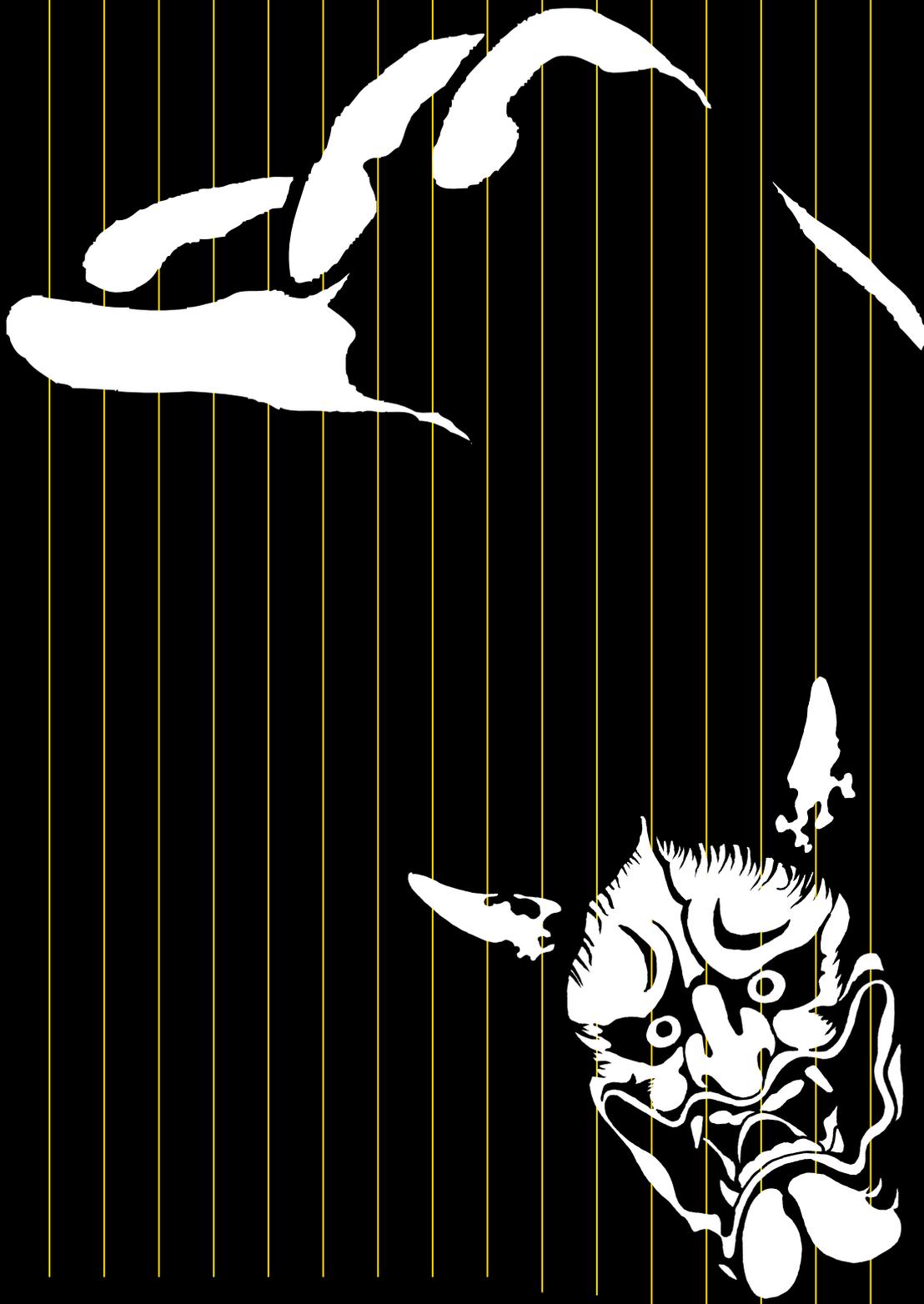


アステールプラザ

神楽鑑賞会



日時 平成26年5月18日(日)

開場:12:00 開演:13:00 終演予定17:00

場所 アステールプラザ中ホール
TEL.082-244-8000

全席自由

前売券 2,000円 当日券 2,500円

チケット販売

アステールプラザ・広島市内の各区民文化センター
エディオン広島本店・ひろしま夢ぷらざ
北広島町観光協会

プログラム

新羅三郎 宮乃木神楽団(広島市)

義経平氏追討 琴庄神楽団(北広島町)

滝夜叉姫 大塚神楽団(北広島町)

紅葉狩 中川戸神楽団(北広島町)

アステールプラザ神楽鑑賞会

しんらさぶろう

1 新羅三郎 宮乃木神楽団

平安時代末期、武士が各地で力を持つようになる頃、陸奥（むつ）の国（岩手県）の安倍一族は、馬や金銀財宝を持ち絶大な力で朝廷の支配地を侵し始めます。朝廷は源頼義を陸奥守（かみ）に任命し、安倍一族の討伐に向かわせます。頼義は出羽（でわ）の国（秋田県）の清原兄弟の援軍を得て安倍一族を滅ぼします。《前九年の役》

その約 20 年後、東北地方の大豪族となった清原兄弟の間で戦いが始まり、頼家の子・義家（八幡太郎）が陸奥守として奥州平定に向います。戦いの最中「義家苦戦」の報が都へ届きます。これを聞き、義家の弟・新羅三郎は役所勤めの職を辞し、義家の援軍となって奥州へと向かいます。《後三年の役》

そして、「笙の名手」として知られる新羅三郎を笙の秘曲の伝授を願う豊平時明が追いかけて、足柄山で秘曲を授かります。

よしつねへいしついとう

2 義経平氏追討 琴庄神楽団

源氏と平氏の長い戦いの歴史も、いよいよ最後の決戦を迎え、平家一門は源義経・武蔵坊弁慶らによって追いつめられ、壇ノ浦で幼い安徳天皇を抱いた二位の尼をはじめことごとく海中に没し滅びてしまいます。しかし討ち死にした平家の総大将・平知盛はその恨みを晴らすべく怨霊となります。

その後、後白河法皇の策略によって、兄頼朝から追われる身となった義経は、都を離れ奥州へと落ちて行きます。義経一行が大物浦にさしかかったとき、空が一天俄にかき曇り、知盛の亡霊が現れますが、石清水八幡のご加護と法華経の法力によって難を逃れます。

この先の多難を思い互いを気遣う義経と静御前は、吉野山で身を切るような思いで別れ、義経一行は再び奥州へ向かい旅立っていきます。

みやのき

宮乃木神楽団(広島市安佐北区)

平成 10 年結成。
安佐町飯室の野原八幡神社を拠点に、幅広い地域から団員が参加し、練習に励んでいます。
阿須那系神楽を中心に郷土芸能として伝承するとともに、若手と一緒に「神楽とは何か」を考えながら、先人たちが育んだ神楽の心意気を学び、儀礼舞、旧舞、新舞を舞っています。
現在は団員も増え、保持演目は 20 演目を超えています。

きんしょう

琴庄神楽団(北広島町)

昭和 48 年、庄原八幡神社と琴谷天日神社を氏神とし、神楽同好会を結成。北広島町豊平地区で神楽を習い、奉納してきました。
現在では、従来の神楽を伝承しながら、舞台芸能としての神楽にも取り組み、平成 22 年には創作神楽「巖島」を発表しました。
初心を忘れず挑戦する気持ちで、さらなる完成度を求めて取り組んでいます。

たきやしやひめ

3 滝夜叉姫 大塚神楽団

東国の新皇を名乗った平将門は、天慶（てんぎょう）の乱で藤原秀郷（ふじわらのひでさと）と平貞盛の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫（さつきひめ）は、父の怨念を果すため、貴船の社に願をかけ、満願とともに妖術を授かります。五月姫は名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・猿島（さしま）の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）らは、朝廷の命を受けて下総の国へと向かい、陰陽の術と妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無残に敗れ去ります。

もみじがり

4 紅葉狩 中川戸神楽団

奥州で美しく育てられた紅葉（くれは）は、都に上り紅葉と名を改め源経基の寵愛を受けます。時を同じくして経基の正妻が病に伏すようになりますが、それは、経基を自分だけのものにしようと紅葉が夜ごと呪っていたからでした。

陰陽師によって見破られ、死罪となるころを経基の恩情により信州・戸隠山に流されます。都の暮らしが忘れられない紅葉は、再び都へ向かうため手下を集め、里人から略奪をするようになります。平維茂（たいらのこれもち）は、紅葉征伐に戸隠山に向かい、麓で陣を張り紅葉を誘い込み、執拗に問いただします。すると紅葉は次第に鬼の姿になり、取り逃がしてしまいます。維茂は「降魔の剣」を授かり鬼の住む岩屋へと切り込み、激闘の末、討ち取ります。

*紅葉狩の伝説は、長野市戸隠村と隣村の鬼無里（きなさ）村にそれぞれ伝わっています。中川戸神楽団の紅葉狩は、鬼無里村の伝説を創作したものです。

おおつか

大塚神楽団(北広島町)

明治 30 年頃結成。
起源は島根県石見町矢上の「矢上神楽」と伝えられています。
石見神楽の流れを受けて旧舞を継承してきましたが、昭和 20 年代後半から千代田神楽の影響で新舞も舞うようになりました。
近年は、若手育成を前面に、伝統も生かした新舞を楽しんでもらおうと練習に励んでいます。

なかかわど

中川戸神楽団(北広島町)

明治 8 年結成。
戦後、八調子の高田舞を導入し、神楽の保存伝承に努めています。
近年は「保存的伝承から創造的伝承」を謳い、アレンジを加えたオリジナル神楽を積極的に発表し、スーパー神楽といわれる照明や面・衣装の早変わりが特徴の舞が有名です。
感動ある神楽をめざし、独自の創作力を養いながら魅力的な舞台づくりに取り組んでいます。

お問い合わせ

〒730-0812 広島市中区加古町4-17

アステールプラザ Tel.082-244-8000